

平成26年度 第3回 府中市文化財保護報告会議事録

日時 平成26年10月14日（火）午前10時

場所 ふるさと府中歴史館3階展示室

出席者 田中会長、猿渡副会長、小澤委員、坂詰委員、馬場委員、福嶋委員、以上6名

事務局 江口課長、黒澤課長補佐、和田郷土資料担当主査、中山主任、荻野事務職員

傍聴者 なし

1 報告事項

会長 それでは報告事項（1）について、事務局の説明求めます。

報告事項（1）武蔵カメ丸くんの着ぐるみについて

事務局 資料3枚目の武蔵カメ丸くんという図をご覧ください。こちらは、武蔵型の甕をひっくり返した様な形で作ってあるものです。人が一人が入る形で布状の物を中から空気で膨らませてこの形にしています。

ちょうど、手の付け根くらいの所に人間が入って、こういうふうには手を動かせるようになっています。足は少ししか動かないので、摺り足でしか動かせません。バッテリーを積んだり、空気のファンを背負わないといけないので、なかなか体力が要るものです。空間としては広いですが、背中のファンとエアークラウドがあるので、なかなか動き難いです。

まだ、正式デビューはしていませんので、子ども達に体当たりされたりとかはちょっと心配です。前から当てられると後ろに背負っているものがあるので、後ろに転ぶとかなり危険かなというのがあります。それを避けるため、誰か補助が居ないと厳しいなというのが感想です。

寸法は、図面にあるように高さが1m80cmの横幅の手の先端までが1m80cm、胴が約1m30cmです。中に175cm位までの人が入っても全然問題ない大きさです。

次回、審議会の時に実物を見ていただく予定です。

以上です。

会長 どういう時に着るのですか？

事務局 イベントの時です。発掘お宝展などでのトークショーや（遺跡）見学会ですとか、そういう時に是非出したいなと思っています。また、歴史館のキャラクターですので、ここで何か催しがある時には必ず出していきたいと思っております。

以上です。

福岡委員 夏はどうするのですか？中は暑いですね。

事務局 汗だくになります。ただ、ファンが回っている間は風が循環するので少しは良いのですが、やはり背負ってベルトをしてとなるとやはり汗をかきます。

福岡委員 手はあまり動かないのですね。

事務局 そうです。着ぐるみの手の奥までは人の手が入らないので、手の付け根にあるわっかを持って動かす、ないしは、手の付け根を持って自分で動かすことになります。

会長 中に入るのは職員ですか。

事務局 そうです。職員が交互に入ります。未だ中に入るのを体験したのは4・5人ですので、できる限り職員全員が1回は経験して操作できるようになればと考えております。

福岡委員 なぜ甕だといのは分かるようPRしているのですか？なぜ甕をキャラクターにしたのかということを外に説明するのはしなくて良いのですか？

事務局 武蔵型という独特な甕があるので、それをひっくり返してそれをキャラクターにしたということです。

福岡委員 それをPRしないと何故甕なのという疑問に答えられません。

坂詰委員 福岡先生が仰ったのと同じで、「府中の発掘お宝展」のチラシを見ると、奈良・平安時代の土師器甕とあるけど、これはこのキャラクターの原型を並べるのですか？

事務局 たぶん武蔵型の甕が出てくると思います。

坂詰委員 お宝展の展示会場にオリジナルの甕を並べて、そこで武蔵カメ丸くんを宣伝するのかと思ってました。そうでは無いのですか？

馬場委員 それをやらないと意味が無いです。

坂詰委員 そこで解説のチラシを配る。そばにこの着ぐるみが立っていれば、(モチーフの)元はこれですよと説明できる。

事務局 坂詰先生が仰ったとおりです。展示してある土師器甕というのは最新資料と今回のテーマに合わせた展示で、それとは別にカメ丸の原型になった土師器甕を登場の時に持って、「これですよ」というのを11月3日に行うつもりであります。

坂詰委員 土師器甕をこれが原型ですよと会場に置いておけば、一般の人は喜ぶと思う。武蔵甕と言われても一般の人は分からないです。

土師器の説明をする中で、いろんなタイプがあって、武蔵型の甕はこういう形ですよということを強調してもらおう。特に足の上の所を説明してもらっているのはどうですか？「短い足を皆さん見てください、逆さになっています。口縁部はこういう特徴があります、これが府中のオリジナルの土器なのです」だからこれを模したのですというふうにして、そう説明してくれると分かり易いのではないかな。

そうではないと勿体無いです。国分寺の瓦の付いたゆるキャラ(「にしこくん」)が問題になっていましたから。あれは市に無断で作ったゆるキャラです。あれは何のために瓦を使ったのかの説明が無いのです。ただ自由にデザインとしてやっているだけ、あれも歴史的な背景を説明して配れば少しは違ったと思う。こういうのを作る場合は、必ず説明があるものです。だから是非それをお願いします。

福嶋委員 声は出るのですか。

事務局 声を出すとイメージが崩れるのかなと思ひまして、特に声は出していません。

会長 ゆるキャラはどんどん登場して消えていく物もあるんですね。

坂詰委員 特色を持たないと駄目ということでしたね。武蔵カメ丸くんも特色を持たないと。

馬場委員 外が見えるのですか、着ぐるみの目から外を見るのですか。

事務局 資料1の2枚目の写真をご覧ください。頭の上には細いスリットがあって、そこからなんとなく覗けます。ただ、この部分は中から覗くとすごく薄くて周囲が明るすぎると見えません。逆に多少暗い方が見えます。人が居るとか痕跡があるなというは分かります。足元は全く見えません。手の先も見えませんから感覚が効かないと駄目です。誰かに付いてもらって行かないと。

福嶋委員 子どもの前に出したら、おそらく手に触ってきます。その時に大丈夫なのかな。

事務局 手自体は奥まで入らないので手を触られても全然問題ありません。ただ、引っ張られたりするとバランスが崩れます。足は脛ぐらいのところで下が見えないくらいの台があって、脛のところで歩いているような状態になります。ですから、摺り足でないと歩けません。

福嶋委員 具体的に動かしてみて、こういう改良をした方が良いという要望すれば改良されるのでしょうか？

事務局 そう思います。

坂詰委員 上に穴は開いていますか。

事務局 上は開いていません。変に開けてしまうと空気で膨らませているので膨らまなくなるためです。

坂詰委員 専門家の人が見ると、これは火葬骨が入っている甕棺だと思われてしまう。それが伏せてある。そうしたら上に穴が開いていると正にそのとおりになってしまう。そうすると中に入っている人が気の毒です。

会長 こういうのは1着しか作らないのですか。スペアは無いの。

事務局 今回は1着です。

会長 そうすると、故障してしまうと、ケアは無しになってしまうのですね。

馬場委員 制作費はどれくらいですか。

事務局 50万円ちょっとです。ちなみに、おそらく今回初めてですが、文化庁の補助金を頂いて作りましたので、全国で補助金を貰って作ったゆるキャラはこれが初めてです。25万円ほどは文化庁の補助をいただきました。

坂詰委員 企業とタイアップしてシャツみたいにして売るのはですか。

事務局 それについては、今後観光協会さんと相談しながらと思っています。

馬場委員 くまもんがあれだけ広がったのは、県が商標の権利を放棄したからだと言っていました。これは市が権利を持っているのですか。

事務局 そうです。

馬場委員 くまもんは地元産業が使うときは、権利行使をしなかった。だからあれだけ広がった。

坂詰委員 せっかく作ったのだから、活用しないと意味が無い。

小澤委員 子ども達が喜ぶから、是非PRしてほしい。

馬場委員 やはり元が何か分からないと意味が無いです。

会長 バッチみたいなのは有るの？

事務局 これからです。これは出来たばかりなのです。

会長 今まではポスターなんかに使っていたわけですね。

事務局 そうです。

坂詰委員 これはお菓子にもなるね、ビスケットとか。それを売れば良い。いろいろお金儲けしてください。

会長 頑張ってください。では、報告事項（２）について、事務局の説明求めます。

報告事項（２） 東京文化財ウィーク 2014 について

事務局 お手元の資料の「東京文化財ウィーク」の「通年公開ガイド」と「特別公開・特別事業ガイド」は例年どおり都内の文化財を紹介するという運動で、今年も10月1日から11月30日の区間で文化財を都民に示す・公開するという事業です。府中市については、通年9件の文化財が紹介されております。大國魂神社様の市の関係のとか史跡の紹介をしております。

あと、今年は、東京都さんが作られた「府中・国分寺を歩いてみませんか」という府中・国分寺の特別企画の冊子があります。こちらが評判が良く、配布すると直ぐに無くなる状態です。

府中市の東京文化財ウィークに関する事業は、市史跡の「旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕」の特別見学会・展示会を11月3日（月・祝）の10時から16時に公開します。市の職員が解説するというので、現地に直接来ていただくということになっております。

もう1つ、10月19日の「第19回調布飛行場まつり」で、「調布飛行場の歴史」ということで、白糸台掩体壕のパネル展示をします。こちらは調布市・三鷹市などとの共同事業です。

東京文化財ウィーク関連事業については以上です。

あと、これは終わってしまったのですが、お手元の資料に10月5日に実施した「市民文化の日」の冊子があります。スタンプを押した方に記念品を差し上げる方式で市の施設を知ってもらおうという企画でした。ふるさと府中歴史館の企画は「ムサシカメ丸君のワークショップ」で、夏休みの展示企画で開催している「しおり作り」や「拓本」、「触れる土器コーナー」といういつも実施しているものと、泥面子という粘土で面子を作るのを初めて実施しました。雨天でしたが30名程度の参加がありました。

さらに、「府中・国分寺を歩いてみませんか」の企画に関連して、東京都が主催で、府中に関して文化財を紹介する特別企画を実施しました。10月9日の午前・午後1回ずつ各30名、計60名の参加者がありました。対象の文化財はケヤキ並木、当ふるさと府中歴史館、国衙跡、普段は公開していない競馬場内の都指定文化財の井田是政の墓です。

以上です。

坂詰委員 「府中・国分寺を歩いてみませんか」の冊子、これの編集に対し

て、府中の方には全然連絡無かったのですか。

事務局 写真や文章の提供と校正で協力しました。

坂詰委員 というのは、2～3ページの全体地図に国分寺の方は「国分寺資料館」が入っていて、府中の方は「ふるさと府中歴史館」をなぜ入れないのかということです。4ページからの本文の中もそうですね。これは英文版があつて、そちらの方が良い内容です。それを外国の方が読んで来たときに、Museum というのはすごく印象に残るのです。だから、これの中に府中の Historical Museum というのが入っていれば、違っていたのではないかと思う。

会長 編集者の意識に無いのかな。去年のに準じてやっているから。

坂詰委員 ええ。ちょっとね。

事務局 府中市は編集自体には関わっていません。出来た物の最終確認としての校正をしたということです。ふるさと府中歴史館を入れるか入れないかという事には関わっていません。全体の原稿は頂かず、府中市の分だけ確認してくださいということでした。

坂詰委員 国分寺のは載っている。府中市は大國魂神社の境内にふるさと府中歴史館があるからそこで見てもらえばよいというので、不公平だね。

馬場委員 校正が来たときに気が付かないと駄目ですね。少なくとも廻ってきたときに、ふるさと府中歴史館が載ってないと言わないと駄目です。それを載せろと言うべきです。

坂詰委員 英文版は東京の外人さんが泊まる安いホテルがかなり持っていったというのです。ということは、皆さんこの英文版が置いてある。そこへ泊まって歩く人は若い人が多いから、そういう人にとって残念なことになる。

会長 来年は是非、手直してもらいたいね。

坂詰委員 英文版はすごく良い。日本文（原文）版より詳しい。英文だから説明の仕方がよい。

会長 そうか、分かっていない人に教えようとするから丁寧になる。

坂詰委員 そうなのです。丁寧になる。すごく評判が良いのです。(対して)これは東京都の人が片手間にやったのですね。これは(東京都教育庁地域教育支援部)管理課の責任になりそう。せっかく作ってくれたのに勿体無いと思う。府中の件もちゃんとやってくれたら良かったのに。これが東京都の限界だと言っておきます。

馬場委員 やはり地元が声を上げなければ駄目です。

福嶋委員 これは、東京文化財ウィークの抜き刷りみたいなものですか。

事務局 抜き刷りそのものではないのですが、似たような内容で、こちらの通年公開のがありますから、抜き刷りともいえます。

坂詰委員 こういうのがあると良いですね。それこそカメ丸くんを表に出したりとか府中の宣伝になる。

会長 こういうのは、編集は専門家が書かないで事務方がたぶん流している。

坂詰委員 書いたのは学芸員です。東京都の場合は、レイアウトは専門家に出します。おそらくこれもそうです。レイアウトは東京文化財ウィークと一緒にやったのではないですか。

事務局 そうです。校正は委託業者から直接来ます。

会長 白糸台掩体壕の特別見学会・展示会のチラシは自治会の回覧とかに入れてますか。あまり見たことない。自治会の回覧をきちんと見ている人は多い。自治会は府中には100団体くらいあります。

馬場委員 自治会は結構面倒です。

会長 そうなのですか。自治会の会長さんに所に回覧が来て、班毎にちらしを分けて、毎日のように廻ってきます。

馬場委員 こまめに出来ると良いのですが。届けに行くとかいう作業ができ

る。

会長 そうか、自治会の会長の所へ誰かが届けに行く作業があるのね。

馬場委員 市内全域となると結構な作業なのです。

会長 自治会も1000戸という所もあるし、10戸や20戸という所もあるんでしょう。でも、自治会の掲示板というのがあるのです。そこを僕は見てますね。芸術劇場やグリーンプラザの催し物の掲示とか貼ってありますね。

馬場委員 あれも高齢者事業団とかにお願いして、有料でやっていただくのですが、どれくらいの期間貼れるかを決められないのです。次のが来ると貼り替えられてしまうという場所取り状態です。ですから、運が良いとしばらく見ていただけるけれども、タイミングが悪いと貼ったあと2・3日で剥がされてしまう。

会長 掩体壕の事だから、掩体壕の周辺の自治体には配ったらいかなと思う。

事務局 近隣の自治会だけでも配るようにします。

会長 はい、では「府中・国分寺を歩いてみませんか」の冊子は、来年は是非、ふるさと府中歴史館を入れてもらうことにしてください。

馬場委員 来年も作ってくれるとは限らないのですね。

事務局 東京23区と26市町村を交互にやっていますので、私達が生きている内には作り直しができないことになります。かなりショックです、毎年テーマを決めて作っていますので。

馬場委員 でも、府中市と国分寺市が地域連携みたいな形で作ることは可能ですね。それこそ、地元の人達も巻き込んでです。

事務局 いま国分寺市と府中市で観光振興連絡協議会を立ち上げて、そこにふるさと文化財課も上司が加わっておりまして、今年はそのパンフレットを作成し、来年度はスマートフォンでプログラムを作ってやろうということで動いています。そういう所でのPRをする予定です。

会長 勝手に作って、東京文化財ウィークの中に挟んだりとかね。

事務局 そうですね。東京都の冊子に府中市で作成した物を挟んだりとか。

会長 府中市で配るのだけは市民にPRできるね。

どうもありがとうございました。それでは、その他について事務局より説明ねがいます。

事務局 2点ご報告させていただきます。

1点は、東京都指定の高札場が台風で屋根のトタンが飛びまして、先般、大國魂神社と協議させていただきました。応急修理を神社で実施していただくことに決まり、着手しました。

かなり屋根が傷んでおりまして、本来は板葺で、板の上にトタンが被せてあるのですが、その板自体がかなり腐っておりまして。出来るだけ早く保存改修計画を作って全面的な保存改修事業が必要な段階に来ていると思います。都内では東大和市に同じ都の旧跡の高札場がございますが、府中高札場の方が大きく、全国的にも高札場は山口県の萩市が国指定文化財ということで高札場を整備し、観光の中でも活用がなされていますので、是非今後、大國魂神社とご協議させていただきたいと思っております

2点目、同じく東京都指定文化財の府中町役場については、昨年度前から保存改修の計画を立てて、予算の関係があって着手出来なかったのですが、本年度、これから来年3月までに保存改修工事を実施いたします。

これについては、次回の文化財保護審議会の中で、現地遺構視察等を検討して参りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、国指定天然記念物馬場大門のケヤキの現状について、2点ご報告いたします。

1点目、台風18・19号による被害は幸いなことにほとんどありませんでした。細かな枝葉が落ちるという状況はありましたが、太い枝の落下事故はありませんでした。

2点目、今年5月に行いました春の巡回調査の結果、生育がおもわしくないケヤキが2本と、現在再開発をしている場所の側ですが、上部の枝が全部枯れたトウカエデがありましたので、その原因を付近の土壌を先週調査いたしました。

結論からいいますと、どちらもナラタケの菌に侵されていました。正式な報告書は委託業者の方から追って上げさせますが、樹木の根にナラタケの菌糸が侵入して腐っている部分が見つかりました。この菌に侵されますと、木の状態

にも依るのですが、侵入されてから10年ほどで枯れてしまうという病気だそうですね。

対策としては、未だ侵されていない木を残し、侵された木はいずれ伐採するしかないということです。

以上です。

福嶋委員 トウカエデは別に無ければいけないという木ではありませんので、無断で誰かが植えた、本来のケヤキ並木の木ではないので、それは伐採していいですね。ケヤキの方は、どんなサイズのが弱っているのですか。

事務局 保護対象の木、古木ではないのですが、保護管理計画では次世代を担っていくであろう主要木として捉えている木です。2本とも根を掘り出してみたのですが、明らかにナラタケの菌糸が中に入り込んで腐っている部分がありました。これは助からないという樹木医さんの診断です。

福嶋委員 何処の木ですか。

事務局 武蔵府中郵便局の側の木です。あの場所は地下に水路があるそうで、周りの木は生育が良いのですが、その2本だけ調子が悪いということで、原因を調べてみたところ、病気であると分かりました。

会長 弱っている木が罹るのかな。

福嶋委員 ナラタケは本来、ナラの木に着く菌ですね。コナラとかミズナラとか。それでナラタケと呼び、菌糸が増えてキノコが出てくる。

会長 それが木が弱っていると着いてしまうのですか。

福嶋委員 ええ、木の枝が折れて、そこから菌が入って行くとか、いろいろな侵入経路があるようですね。台風で木が揺れると根がぶちぶち切れる。そういう所から菌が入る。

馬場委員 菌は広がるものなのですか。

福嶋委員 私はよくは知らないけど、チェックした方がいいですね。例えば土壌の殺菌まで必要なのか。蔓延するのかなど。

事務局 はい、樹木医さんの見解に依りますと、菌の胞子は至る所にあるので、なるべく根を傷つけない管理をこれからも心掛けていくしかないということでした。

会長 木にとっては生活環境はどんどん悪くなってね。

福嶋委員 建物がいっぱい建つと、風が収斂しますしね。日光は当たらないし、良いことは無いですね。今後、良くなることは無いですね。

会長 もう治療の方法は無いと。

福嶋委員 その様ですね。トウカエデは養生せずに除去しても良いのではないですか。

事務局 トウカエデの方は、保護管理計画上、最初から伐採対象なのですが、その上部が枯れた原因を掴めないと、周りのケヤキに感染しているかどうか、そこで菌が増えて周りに広がるのと困りますので、原因を一応調べてみるということで調査いたしました。

福嶋委員 良いですね。

事務局 9月の議会で補正予算が通りましたので、これから不要な木を伐採して、残る木の被圧を減らして行こう、より一層の日光を根元まで含めて当るようにして行こうということになります。

残した木は樹勢が回復してくると思います。樹勢が上がれば、抵抗力も上がりますので、この様な事態は減ってくることを期待したいと思います。

福嶋委員 そう管理をするなら、以前の文化財保護審議会で指摘したいっぱい枝の出ているケヤキを植えましたね。あれは、枝を整理するという話で納得したのですが、もう整理した方が良いのではないですか。

事務局 はい、それはこれから検討して、適切に残す枝と残さない枝を選び、剪定を掛けたいと思います。

福嶋委員 早めにやっておいた方が良い、木は大きくなりますからね。

事務局 最後ですが、府中の発掘お宝展、今年は前期展が11月1日（土）から11月7日（金）で、フォーリス1階の光と風の広場で開催いたします。後期展は11月18日（火）から来年2月15日（日）まで、ふるさと府中歴史館の1階で開催いたします。展示内容は前期と後期で若干変わりますが、府中市の発掘調査60周年の歩みを伝える展示を行いたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

以上です。

会長 前期は1週間だけど、毎年1週間しかやらないのですか。

事務局 だいたい1週間ですね。

会長 勿体無い感じだね。

次回は平成26年度の府中市文化財保護審議会の第4回です。

日程は、12月17日（水）午後3時からとなりました。

期日が近づきましたら、委員の皆様のご都合を合わせ、実施することといたします。